

2023年6月18日

海外福岡県人会御中

東京福岡県人会  
国際交流委員会

## 2023年6月度会報

大変遅くなりましたが、会報「東京と福岡」6月号を送ります。

5月19日から3日間、広島でG7サミットが開催されました。今回の特徴はG7サミット国に加え、グローバルサウスの代表としてインド、インドネシア、韓国、ブラジル、ベトナム、オーストラリア、コモロ、クックの8か国が招待されたことでした。また、ウクライナのゼレンスキー大統領が突然訪日、各国代表と面談したことです。更に、米国・バイデン大統領始め各国代表が原爆慰霊碑に献花、原爆資料館を訪問しました。

今月は海外福岡県人会からの訪問がありました。5月23日、シドニー福岡県人会の大庭さんが東京福岡県人会事務所に来訪され、田島事務局長、小倉編集委員、国際交流委員会（江本、青木）と懇談されました。6月14日、日本に一時帰国中の米原ポリビア福岡県人会会長が双子のお姉さま（埼玉県在住）が事務局にお見えになり、田島事務局長、小倉編集委員、江本と懇談されました。面談時の話題は会報7月号に掲載する予定です。海外福岡県人会の皆様のご来訪を事務局、編集委員会共々お待ちしております。

日本は現在梅雨の最中、梅雨前線に台風が加わり、雨が多く、憂鬱な日が続いています。正に鬱陶しい季節ですが、このような時期は俳句でも詠んで気を紛らわしたいものです。

紫陽花に 雫あつめて 朝日かな （加賀千代女）

紫陽花や 帷子時の 薄浅黄 （松尾芭蕉）

紫陽花や 昨日の誠 今日嘘 （正岡子規）

等ですが、この季節の俳句としてもっとも有名なのは次の一句でしょう。

五月雨を あつめて早し 最上川 （松尾芭蕉）

ただ昨今は、線状降水帯などと無粋な豪雨となり、俳句どころではありませんが。

憂鬱な気分を消し去ってくれるようなニュースがスポーツ、将棋界でありました。大相撲5月場所では膝の故障で4場所連続休場していた横綱照ノ富士が見事復活、優勝しました。また関脇の強い場所は面白いと言われていますが、今場所は霧場山、若元春、大栄翔、豊昇龍が揃って活躍、特に霧場山改め霧島は場所後、大関昇進が決定しました。来場所は若元春、大栄翔、豊昇龍も大関昇進をかけた重要な場所となります。下位陣でも朝乃山が幕内に復帰、更に十両からも豪ノ山、落合など有望力士が幕内昇進を決めました。名古屋場所が今から楽しみです。

将棋界では藤井さんが偉業を達成しました。渡辺名人に挑んだ名人戦を見事に制し、20歳での七冠達成（羽生さん以来二人目）となりました。プロ棋士（女流棋士を除く）138名の頂点に上り詰めた藤井七冠の時代がどこまで続くか、無冠となった渡辺さん他の棋士がどう挑んでいくか、興味は尽きません。私の棋戦を観戦する楽しみの一つは棋士が考えに考えている姿にあります。ただ最近では皆さん食事の献立、午前・午後のスイーツにも

あるようです。また戦況と次の一手はAIが逐一（%）つきで教えてくれますし、便利な世の中になったものです。

AIは当然俳句も詠めます。初夏の句から数点  
春惜しむ 利休の墓に 詣でけり  
春の蚊の 身を細うして 飛びにけり  
桜餅 言葉少なに 老いにけり  
ネット検索すると瞬時にでてくるのですから、我々人間もうかうか出来ません。

最後人間も凄いことを読売新聞に掲載された記事（90歳代の活躍）から  
千葉県の稲田さん 90歳にしてトライアスロン（水泳3.5キロ、自転車180.2キロ、  
マラソン42.195キロ）に世界選手権への挑戦を目指しているとか。2018年には  
16時間53分で完走されておられます。  
長野県の丸茂さん 世界最高齢のスケーター、93歳と282日で大会に出場、ギネス記録  
を大幅更新されました。  
青森県の田中さん 60歳で走り始め、92歳でポーランドでの世界マスターズ室内陸上  
選手権で200メートルを38秒79の世界記録を樹立されました。私もフルマラソンラン  
ナーの端くれですが、このスピードは凄い、ご立派の一言です。「手の届く目標設定、無  
理せず、継続」がキーワードとか。  
精神科医の和田先生の近著「不老脳」によると「人間らしさの源泉ともいえる役割を担う」  
のが前頭葉。その前頭葉を鍛える方法が「実験する」「運動する」「人とつながる」と言われ  
ています。

今月で私の担当は終わります。後期高齢者となりましたが、和田先生のおっしゃる運動  
と人の繋がりを大切にして今後の人生を歩んでいきたいと思っています。  
長期にわたりお付き合い頂き、感謝に堪えません。  
今後とも東京福岡県人会国際交流委員会へのご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

以上/江本